

宮崎日日新聞県内のニュース 

高齢者虐待防止へ結束 県弁護士会と県社会福祉士会

2009年09月14日

高齢者虐待防止への強力タッグ。県弁護士会(松田公利会長)と県社会福祉士会(松井利博会長)は15日、「県高齢者虐待対応専門職チーム」を発足させる。

県のまとめでは、県内で発生した高齢者虐待は3年連続で100件超。最近では、親の世話をする子どもが年金を使い込むといったケースも目立つ。関係者は「複雑化する家族間の問題にも法的アドバイスで切り込める」と期待している。

県が発表した高齢者虐待の状況調査によると、2008年度の高齢者虐待に関する相談・通報は195件(前年比18件増)で、このうち114件(10件増)で虐待の事実が認められた。

宮崎日日新聞県内のニュース 

高齢者の虐待防止にチーム発足 弁護士会と社会福祉士会

2009年09月15日



県弁護士会(松田公利会長)と県社会福祉士会(松井利博会長)は15日、県高齢者虐待対応専門職チームを発足した。

家族が本人の了解なく年金を使い込むなど経済的虐待が複雑化する中、法的アドバイスによる問題介入に期待が寄せられている。同チームは「人間らしい生活をするという高齢者の権利擁護のために、力を合わせていきたい」と意気込んでいる。

同日、宮崎市旭1丁目の県弁護士会館で松田、松井両会長が協定書に調印した。同チームは弁護士会約15人、福祉士会約20人で結成。今後、契約を締結した各市町村などから要請があった場合、各団体から1人ずつ2人のチームで専門的な立場から助言を行う。

(詳細は16日付朝刊、または携帯サイトで)

【写真】県高齢者虐待対応専門職チームの発足で、握手を交わす県弁護士会の松田公利会長(左)と県社会福祉士会の松井利博会長＝15日午後、宮崎市・県弁護士会館